

# 令和6年度 四万十市立中村西中学校 学校経営方針

## 1 基本方針

日本国憲法及び教育基本法の精神に則り、高知県教育振興基本計画並びに四万十市教育振興基本計画及び四万十市教育行政方針に沿って、人間尊重と生命尊重を基盤に、学校教育目標の達成に向けて、地域や生徒の実態を踏まえつつ、変化の激しい21世紀を生き抜き、21世紀の社会を主体的に創造できる子どもを育成する学び舎として、機能的で活力ある学校経営に努める。

## 2 経営理念及び経営の重点

令和の日本型学校教育と学習指導要領を具現化・実現する学校  
～個別最適な学びと協働的な学び、社会に開かれた教育課程の実現を目指して～  
◆熱意をもって事にあたる ◆誠意をもって人に接する ◆創意をもって指導に臨む

全ての生徒の可能性を最大限に伸ばすため、「生徒の能力」や「学年集団の特性」「家庭・地域の教育力の差」「教員の経験や力量の差」で学力差を生まない質の高い教育を展開する。

～高知県としての6つ基本方針～【第3期高知県教育振興基本計画】

- I チーム学校の推進
- II 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実
- III デジタル社会に向けた教育の推進
- IV 地域との連携・協働
- V 就学前教育の充実
- VI 生涯学び続ける環境づくりと安全・安心な教育基盤の確保

横断的取組1 不登校への総合的な対応  
横断的取組2 学校における働き方改革の推進

第2期四万十市教育振興基本計画（令和2～6年度） 《基本理念と取組》

- ☆ふるさとを愛し 夢と志をもって 未来を切り拓く人材（ひと）の創造
- ☆『オール四万十』で学びあい 高めあい つながりあう人材（ひと）の創造
- 安全・安心な学校、信頼される学校づくり ～教育の主人公は子ども 高潔な教職員倫理～
- 学力向上と授業改善 ～1校1役教育研究を核に 学習指導要領への対応も踏まえて～
- チーム学校の構築 ～校長を中心とする学校組織体制の確立と学校経営計画の着実な推進～
- 新しい時代に対応する学校への改善 ～働き方改革・学習指導要領の理念も踏まえて～

## 3 学校経営基本方針

### 1. 「チーム学校」を構築する

(1) 組織的・協働的に目標の実現や課題の解決に取り組む学校を構築する。

### 2. 厳しい環境にある生徒や様々な特性をもつ生徒への支援を組織的に展開する。

- (1) 学習のつまずきに早期に対応し、きめ細かな個別指導を行う。
- (2) 特別支援教育の視点をもち、生徒一人一人の生活背景や特性を受容的に捉える。
- (3) 関係機関との連携による教育相談体制、支援体制を充実させる。

### 3. 学校・家庭・地域との連携・協働体制を構築する。

- (1) 育成する資質・能力を保護者・地域と共有し、連携・協働してその実現を図る。
- (2) 地域ぐるみで子どもの育ちを支援する体制を強化する。

## 4 めざす学校像

- (1) 安心・安全な学校
  - ・学校が楽しいと思え、個性が認められる学校
  - ・人権意識・規範意識を高く持ち、正義・平等の精神に満ちた学校
- (2) 凡事徹底のできる学校 「時を守り、場を清め、礼を正す」
  - ・時間が守れる学校 ・整理整頓が行き届いた学校 ・あいさつができる学校
- (3) 進化できる学校
  - ・時代の変化や社会の変化に対応し、進化することができる学校

## 5 めざす生徒像

- 《友情（思いやり）》 ⇒ 認め合い、励まし合い、高め合うことのできる生徒
- 《自主（主体性）》 ⇒ 自らが主体者となり、学びに向かうことのできる生徒
- 《責任（自律）》 ⇒ 物事を正しく判断し責任持って行動できる生徒

## 6 めざす教師像

- 生徒の自己実現に向けて、時に厳しく、時に優しく支援できる教師（育てる）
- 生徒一人一人の個性を認め、学ぶ意欲を高めることのできる教師（認める）
- 志を持ち、生徒と共に努力し、成長することのできる教師（共に学ぶ）
- 組織の一員として協調性を持ち研鑽し合う教師
- ☆将来・未来を見据え、子どもたちのために、学び続けることができる教師

## 7 学校教育目標

「志を持って未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成」  
～友情・自主・責任～

## 8 本年度の研究主題と研究指定事業

《研究主題》 「見方・考え方をはたらかせ思考を深める授業づくり」

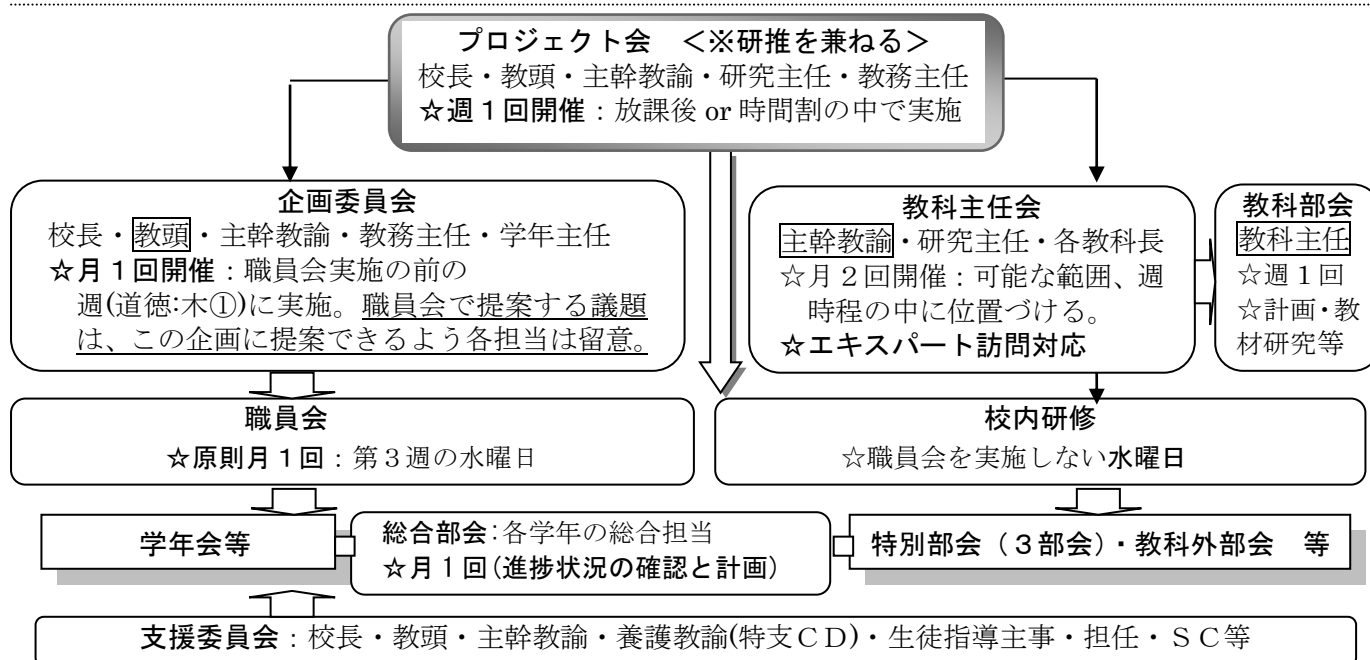
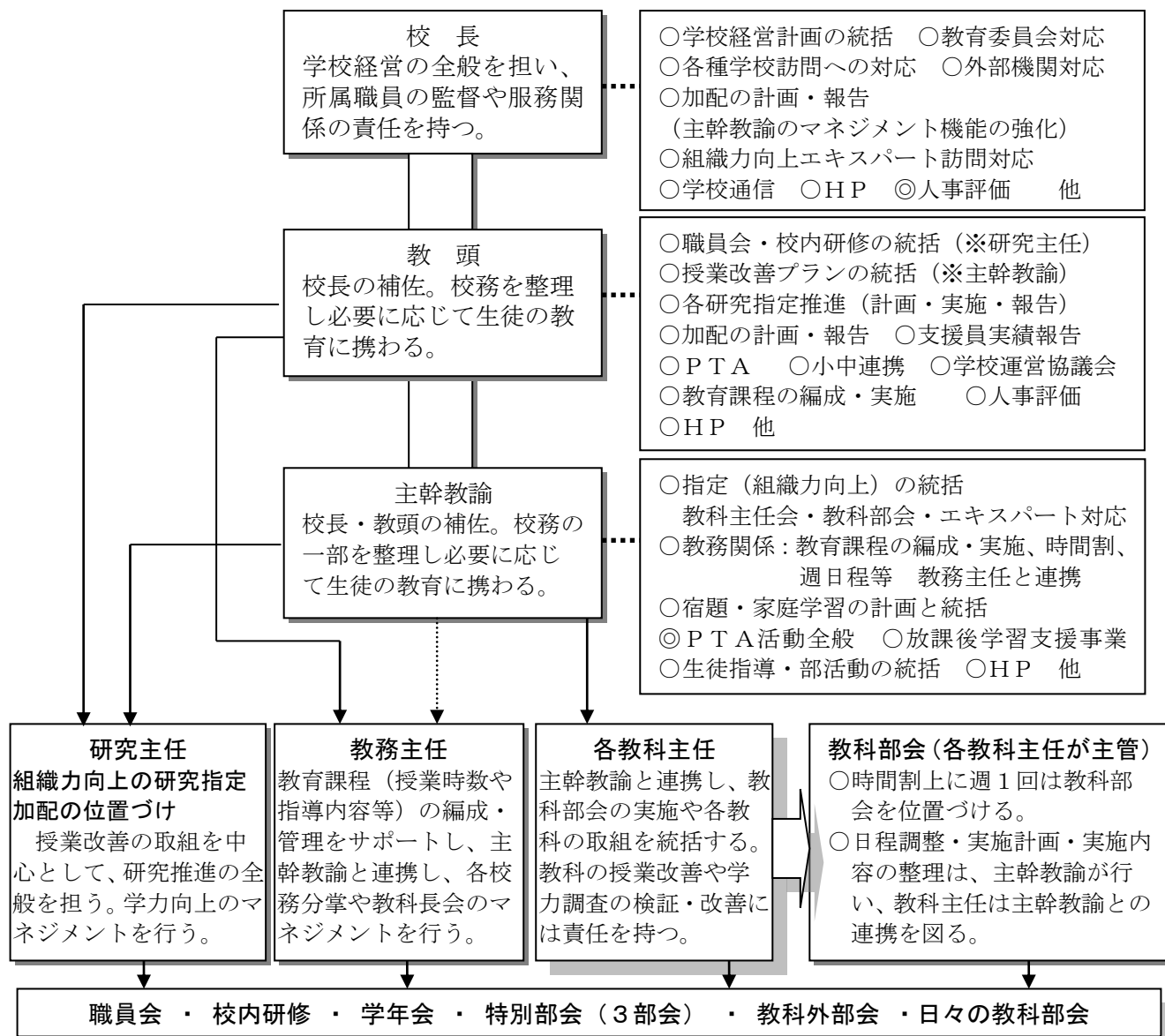
【指定事業】

- 組織力向上「教科のタテ持ち」指定校【高知県教育委員会】
- 「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト授業づくり講座（理科）【高知県教育委員会】
- 一校一役教育研究指定校 「学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善」【四万十市】
- 中学校数学授業研究コミュニティー【四万十市】

## 9 本年度の取り組みの重点

- (1) 社会に開かれた教育課程を実現する。
- (2) すべての生徒に基礎学力の定着と学力向上を図る。
- (3) 生徒理解に努め、学級経営力・教科指導力を向上させる。
- (4) 道徳教育・人権教育・特別支援教育・キャリア教育を推進する。
- (5) 防災教育、安全教育を推進すると共に危機管理を徹底する。
- (6) 基本的な生活習慣の定着と健康の保持増進及び体力・運動能力の向上を図る。
- (7) 学校図書館活動の充実により、読書活動を推進する。
- (8) 保・幼・小・中連携教育を推進する。
- (9) 学校・家庭・地域で協働して生徒を育成する。

## 令和6年度 学校の組織運営について



市町村基本理念

○ふるさとを愛し夢と志をもって未来を切り拓く人材(ひと)の創造

○『オール四万十』で学びあい 高めあいつながりあう人材(ひと)の創造

学校経営理念

人間尊重と生命尊重を基盤に、学校教育目標の達成に向けて、地域や生徒の実態を踏まえつつ、変化の激しい21世紀を生き抜き、21世紀の社会を主体的に創造できる子どもを育成する学び舎として、機能的で活力ある学校経営に努める。～個別最適な学びと協働的な学び、社会に開かれた教育課程の実現を目指して～ ◆熱意をもって事に当たる ◆誠意をもって人に接する ◆創意をもって指導に臨む

学校経営方針

- 1 チーム学校の推進 《組織マネジメント力の強化・教員同士が学び合い高め合う仕組みの構築》
2 厳しい環境にある子どもへの支援や子どもの多様性に応じた教育の充実 《特別支援教育の充実》
3 デジタル社会に向けた教育の推進 《ICTの効果的な活用による指導の充実》
4 横断的な取組の推進 《生徒の安全の確保・不登校への総合的な対応・働き方改革の推進》

学校教育目標

志を持って未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成
～ 友情 自主 責任 ～
○友情:認め合い、励まし合い、高め合うことのできる生徒
○自主:自らが主体者となり、学びに向かうことのできる生徒
○責任:物事を正しく判断し責任持って行動できる生徒

研究主題

見方・考え方ははたらかせ思考を深める授業づくり

中期計画<令和6年度～令和8年度>

Table with 5 columns: 現状<強みと弱み>, 目標<3年後の到達指標>, 行動指針<3年間の取組方針>, 評価, 検証・評価<3年間の総括>. Rows include categories like 確かな学力, 健やかな体, 豊かな心, 基盤となる体制等, 不祥事防止等.



短期計画【確かな学力】(令和6年度)

前年度からの課題	目標(到達指標)	具体的な取組及び評価指標	担当	中間検証	年度末検証
<p>●個別最適・協働的な学びの実現に向けた取り組みが十分ではない。</p> <p>●ICTの活用場面は増えているが、効果的な活用であるかの研究が十分ではない。</p> <p>県学調:全国比 1年国:+3.6、社:+7.6、数:+3.6、理:+1.7、英:+1.3 2年国:+9、社:+11.6、数:+10.6、理:+16.5、英:+8.3</p>	<p>①全国学調:【全国平均比】+3P ②県学調:【全国平均比】+3P ③上の調査におけるD層の生徒の割合が全国の割合を下回る。 ④生徒の思考の深まりや、ICTの効果的な活用についてのアンケート(教師・生徒)における肯定的回答80%以上。</p>	<p>(1)プロジェクト会を中心とした縦・横のライン機能の充実を進める。(教員同士が学び合う仕組の構築・定着) ①メンティ会の計画的な実施(年間10回以上) ②月1回の授業参観の実施 ③複数の教科によるグループ別校内研の実施 ④小中交流校内研修会の実施(年間1回上) (2)校内研や自主研修を通じて授業におけるICTの効果的な活用方法について共通理解を図る。 ①校内研でICTに関する研修会を実施(年間1回以上) ②ICTを効果的に活用した授業及び家庭学習の推進を図る (3)学習調査等の結果から教科会・教科主任会・学年会において情報を共有し、縦と横での連携を図る。</p>	<p>①②主幹 ③④研究主任 ①研究主任 ②知部会</p>		

短期計画【健やかな体】(令和6年度)

前年度からの課題	目標(到達指標)	具体的な取組及び評価指標	担当	中間検証	年度末検証
<p>●部活動の参加人数が減少している。</p> <p>●基本的な生活習慣の確立やSNSの長時間使用について、できていない生徒とできない生徒が2極化している。</p>	<p>①全国体力・運動能力調査:全国平均以上 ②運動に対する肯定的評価90%以上 ③定期的な生活実態調査 ・朝食摂取率 80%以上 ・睡眠時間7時間以上60%以上</p>	<p>(1)教科間や体の部会で連携を図り、学校体育活動の充実を進める。 ①補強運動を計画的に実施する。(昨年度や今年度の体カテスト結果をもとに内容の精選を行う。) ②「こうち子ども体力・運動能力向上プログラム」を活用し、体力向上に向けた取組を計画して実践する。(帯タイム等) (2)養護教諭と連携した指導の推進 ①生徒会専門部を活用した取り組みの充実を図る。(保健給食部、体育部の活用) ②生活点検を体の部会に所属する教員で分析・改善を行っていく。 ③基本的な生活習慣の確立や発育発達について、SNSの扱い方などについて、養護教諭や外部講師を招聘して授業を展開していく。</p>	<p>①②体育主任・体の部会 ①担当教員 ②③養護教諭・体の部会</p>		

短期計画【豊かな心】(令和6年度)

前年度からの課題	目標(到達指標)	具体的な取組及び評価指標	担当	中間検証	年度末検証
<p>●長期欠席・不登校の生徒数が多い。(新規不登校生徒も多い)</p> <p>●あいさつ運動については、活動頻度のギャップから、生徒が挨拶ができていないと感じている。活動頻度や内容の見直しを執行部の生徒と行うことが必要だと考えられる。</p>	<p>①全国学調:道徳性の項目 全国平均以上 ②不登校生徒数:10名以下 ③新規不登校生徒数:3名以下 ④支援会の効果的な実施と情報共有:アンケート90% ⑤県問題行動調査:いじめの解決率100% ⑥Q-Uで要支援群の生徒3人以下 ⑦学校評価:あいさつをする 90%以上</p>	<p>(1)道徳教育・人権教育を核とした学校・学級づくりを推進する。「考え、議論する道徳」や「教科横断的な人権教育」の実施。 ①学校評価アンケート(教職員)「道徳の授業は、学年団で協力して計画的に行うことができた」100% ②学校評価アンケート(教職員)「人権教育は、教科・領域等の学習と関連させながら計画的に行うことができた」85% (2)不登校への組織としての対応が確立している。 ①週1回のミニ支援会(早期発見・対応) ②毎日の気持ちメーターの活用 ③月1回の支援会の充実 (3)生徒指導主事を中心とした組織的な生徒指導を推進する。 ①生徒指導部会を週1回実施する100% ④特別支援教育に関する校内研修等を年間3回実施する。 (5)挨拶・掃除・学習規律・校則の見直し等、生徒会を中心とした取組を推進する。 ①専門部会を1カ月に2回実施し、生徒主体の課題解決活動を推進する。</p>	<p>(1)道徳教育推進教師 人権教育主任 (2)不登校担当 (3)生徒指導主事 (4)特別支援コーディネーター (5)生徒会担当</p>		

短期計画【基盤となる体制等】(令和6年度)

前年度からの課題	目標(到達指標)	具体的な取組及び評価指標	担当	中間検証	年度末検証
<p>●教員の超過勤務が多い。</p> <p>●緊急時に全教員・生徒が対応できる避難訓練には至っていない。</p>	<p>①定時退校日、最終退校時刻の設定:達成率100% ②《学校評価》教職員は意欲をもって協働的に教育活動にあたっている。90%以上 ③安全計画に基づいた各種訓練、安全教室、防災学習の実施100%</p>	<p>(1)見直しをもって教育課程を編成し、必要最小限の時間で、計画的且つ効果的に実施する。 ①標準授業時数+70時間以内での実施 ②年間10回以上のメンター会の実施 ③月2回以上の定時退校日の設定 ④職員との面談の実施(年3回) (2)安全教育プログラム・安全計画に基づく安全教育を実施する。 ①年3回以上の避難訓練の実施 (3)地域との連携・協働により教育活動を充実させる。 ①年3回のCSの実施 ②学期に1回民生委員との研修会の実施</p>	<p>(1)管理職・教務主任 (2)防災教育担当 (3)管理職</p>		

短期計画【不祥事を生じさせない職場風土づくり】(令和6年度)

前年度からの課題	目標(到達指標)	具体的な取組及び評価指標	担当	中間検証	年度末検証
<p>●道路交通法違反がある。</p>	<p>①不祥事等の発生件数 0件</p>	<p>(1)服務規律に関する研修を学期に1度実施する。注意喚起を学期初めや学期末に定期的に行う。 ①メンター会で服務規律に関する研修を行う。</p>	<p>校長・管理職</p>		

## ☆目指す学校像

- 安心・安全な学校
- ☆学校が楽しいと思え、個性が認められる学校
- ☆人権意識・規範意識が高く、正義と平等に満ちた学校
- 凡事徹底【時を守り・場を清め・礼を正す】
- ☆時間が守れる学校 ☆整理整頓が行き届いた学校
- ☆あいさつができる学校
- 進化できる学校
- ☆変化に対応し、進化することができる学校

## 教育目標

**志を持って未来を創造し、たくましく生きる生徒の育成**  
～ 友情・自主・責任 ～

## ☆目指す生徒像

友情 ⇒ 人に優しく、思いやる心の醸成  
認め合い、励まし合い、高め合うことのできる生徒  
自主 ⇒ 主体的に取り組み態度の育成  
自らが主体者となり、意欲的に学びに向かう生徒  
責任 ⇒ 自らを律し他者と協働できる力の育成  
物事を正しく判断し責任持って行動できる生徒

## 学校経営理念

**21世紀を創造し、生き抜く人材を育てる！**  
**個別最適な学びと協働的な学びの実現**  
**社会に開かれた教育課程の実現を目指して！**

☆あいさつと笑顔あふれる学校  
☆夢を持たせ学力を伸ばさせる学校  
☆保護者・地域から信頼される学校

☆豊かな人間性と規範意識が醸成される学校  
☆開発的な生徒指導が展開できる学校

## 鍛えて・認めて（ほめて）・伸ばす

## チーム西中

## 《進化できる学校》

## 令和6年度の重点的な取組内容・評価

## 健康・体力づくり部会(体)

- ①スポーツテストの結果：全国平均を越す
- ②部活動指導を通じた体力・技能・規範意識の向上
- ☆顧問会・キャプテン会の充実
- ④健康生活点検と便り発行を通じた基本的な生活習慣の向上
- 【検証：体力調査結果、生徒への意識調査、生活アンケート】

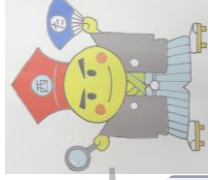
## 授業づくり部会(知)

- ①学力調査の分析と検証に基づく学力向上対策の徹底
- ②西中スタンダードの徹底 ③家庭学習の充実
- ④ICTの効果的な活用 ⑤小中の教科間連携
- ⑥総合的な学習の時間の改善・充実
- 【検証：全国平均+3・県平均+7P、授業・総合アンケート向上、学校評価】

## ☆目指す教師像

- 生徒の自己実現に向けて、時に厳しく、時に優しく支援できる教師《育てる》
- 生徒一人一人の個性を認め、学ぶ意欲を高めることのできる教師《認める》
- 志を持ち、生徒と共に努力し、成長することのできる教師《共に学ぶ》

- ☆組織の一員として協調性を持ち研鑽し合う教師
- ☆将来・未来を見据え、子どもたちのために、学び続けることができる教師



教職員の授業づくりのスローガン  
『授業を磨き、授業で育てる』  
～志を持ち、生徒の未来のために～

## 仲間づくり部会(徳)

- ①自尊感情を高める教育活動の推進
- ②道徳の授業公開の実施
- ③学校生活アンケートと個人面談週間の実施
- ④Q-Uによる学級集団・生徒の理解と支援の充実
- 【検証：学校評価・道徳意識調査(自尊感情)・Q-U】

## 研究主題

『見方・考え方をはたらかせ、思考を深める授業づくり』